

# あこう展(のたより)

3月 

発行責任者  
西川 晃 二

## 教頭席より

### 春の兆しを感じながら

去る3月20日、東京の日本武道館で開催された全国高校柔道選手権大会60キロ級に、本校柔道部の下村真洋君が出演し、見事ベスト16に入りました。柔道の猛者が集う全国大会で1勝を挙げるのは難しく、顧問の引地監督の話によると、本当に久しぶりの快挙。オリンピック金メダリスト野村忠宏選手の母校である天理高校の関西チャンピオンを、鮮やかな大内刈りで破った瞬間、引地監督も思わずガッツポーズで応えたそうです。下村君は今年開催される長崎国体の強化選手にも選ばれており、柔道部だけでなく、他の部活生の今後の活躍を予感させる勝利でした。

また、3月22日には五島高校吹奏楽部第27回定期演奏会が開催されました。生徒数減少の中、部員確保に苦しみながらも、顧問の先生方の熱心なご指導と生徒たちの精一杯の音楽作りに対する精進を垣間見ることができました。学校行事だけでなく、地域行事にも積極的に参加した1年間を締めくくりにふさわしいコンサートでした。クラシックあり、ポップスあり、そして最後には、「蒼き故郷」、校歌ありと、時の経つのを忘れさせるとても有意義な時間を持つことができました。体だけでなく、心も思わず踊り出すような曲ばかりで、飽きることがありません。練習を重ねた生徒、そして舞台裏で演奏者たちを支えた放送部や裏方の人たちに大きな拍手を送りたいと思います。

演奏された曲の中で特に印象に残っているのは、クラシック・オリジナルステージの中で演奏された「PUSZTA」(プスタ)というハンガリーのクラシックです。タイトルの「プスタ」とはハンガリーの広大な平原の名前で、ヨーロッパを中心に放浪生活を送る民族をテーマとする作品だそうです。目を閉じると、五島の雄大な大地と青空、そして大陸へとつながる海原が眼下に浮かびます。ゆったりとした導入から急激な速度や強さの変化が放牧民族の生き様を伝えているようです。あわせて、本校の卒業式でも歌われた「蒼き故郷」も演奏され、あらためて素晴らしい自然に囲まれた五島の地で生活していることを実感させられました。

一方、進路面に目を向けると、3月に卒業した3年生も一人ひとりの進路実現に向け、精一杯の努力をし、例年に勝るとも劣らぬ成果を挙げました。早朝から深夜まで、休日返上で頑張った姿が印象的です。全員が希望通りの進路実現とはいかなかったかもしれませんが、夢実現に向かって必死になって努力したことは、彼らの大きな財産となり、今後の人生に大きな影響を与えるはずで、彼らのこれから進む道に幸多かれと祈りながら、次の主役の君たちに大いに期待したいと思います。地道で実直な努力を積み重ねてください。努力は君たちを裏切ったりはしません。

最後に、定期演奏会で披露された「島人(しまんちゅ)ぬ宝」の替え歌「五島の宝」を紹介します。素晴らしい島、ここ五島でかけがえのない仲間たちと共に学び、共に刺激しあえる喜びをかみしめることができる新学期であって欲しいと思います。入学当初の高い志を忘れず、進路実現に向けて、しっかりと計画を立て、有意義な春休みを過ごしてください。新入生の範となる五高の上級生であることを期待します。春の兆しを感じながら。

### 「五島の宝」

僕が生まれたこの五島の島を 僕はどれくらい知っているだろう  
 椿の花も美しい海も僕らの自慢の宝物  
 でも何より何より大切なのは 苦しいときも嬉しいときも  
 共にすごしてきたこの仲間

教科書に書いてあることだけじゃ分からない大切なものが  
 きっとここにあるはずさ それがプラスの絆  
 五島にいる人々の温かさを感じて五島で育ち本当に幸せだったよ それが五島の宝

## 卒業式（1日）

3月1日（土）に五島高等学校普通科第66回、衛生看護科第39回の卒業証書授与式が挙行され、176名の卒業生に卒業証書が授与されました。

校長式辞では、「太った豚となるよりも痩せたソクラテスとなれ。」という元東京大学総長大河内一男氏の言葉を紹介し、餞の言葉を述べられました。送辞では在校生代表の橋本友里恵さんが「今まで私たちを支えてくださった先輩方とのお別れは、寂しさに堪えません。しかし、これから私たちはこの五島高校の伝統を引き継ぎ、更に発展させていくことをここにお約束して、笑顔で先輩方をお見送りしたいと思います。」と感謝の言葉を贈りました。それを受けて、答辞では卒業生代表の今村義輝君が卒業生、在校生、部活動の仲間、お世話になった先生方、そして保護者への感謝の気持ちを述べた後に、「いよいよ、旅立ちの時がやってきました。私たちはこれから、それぞれが一人ひとり別の道に向かって挑戦していきます。自分の知らない世界を見て、自分の知らない自分を探していきたいと思います。社会は厳しく、先生方のように助けてくれる人はいません。自分の力を頼りに進まなければなりません。でも私たちは、私たち自身が思っている以上に、きっと成長しているのだと思います。もし、途中で立ち止まった時には、五島高校での三年間で得た、「仲間」、「人を思いやる気持ち」、そして「困難に立ち向かう強い心」を持って、また一歩ずつ歩みを進めます。そして、五島高校生であったことを誇りに、常に挑戦し、成長し続けることをここに誓います。」と決意を述べました。176名の卒業生はそれぞれ違う道を歩んでいきますが、これまで学んだことを生かして、これからの人生を突き進んでほしいと思います。頑張れ！



## 特別表彰式（2月28日）

2月28日（金）に、卒業式に先立ち特別表彰式が行われました。高校3年間で学習や部活動などで顕著な活躍をした生徒が表彰されました。各種表彰の内容と表彰者は下記の通りです。

- 長崎県教育委員会表彰 3年1組 才津 為央
- 長崎県高等学校体育連盟表彰 3年4組 祝 貴之
- 体育優秀生徒表彰 3年6組 濱口 沙織
- 産業教育御下賜金記念優秀卒業生表彰 3年7組 平田 舞
- 全国看護高等学校長協会平成25年度生徒表彰 3年7組 宗 彩花
- 高校生新聞社賞 3年2組 濱里 七海
- 特別活動功労賞



- 陸上競技 3組 戸川 祐華
- 柔道 4組 祝 貴之 6組 都々木宏明
- 百人一首かるた 1組 江川 楓、中村 光、平川 遼子 5組 谷川 晶保
- 女子バスケットボール 1組 石井 菜央、小西 美紅、田口 愛望、山下 満里亜、山本 亜耶
- 2組 赤窄 詩織、鍛冶梁 美由紀 3組 柳田 沙季 7組 滝川 黎菜

○皆勤賞（3年間無遅刻、無欠席、無欠課の者）

- 1組 木口 雄介 才津 為央 沼田 陸門 牧野 匡佑 小西 美紅 田口 愛望 平田 千佳
- 山下 夏奈
- 2組 木戸 康博 赤窄 詩織 岡田 久瑠美 柏 沙希
- 3組 太田 優子 佐々野 由佳 竹山 由夏 眞弓 千佳
- 4組 居村 知拓 嘉山 芙海 岸上 裕生 兒島 早紀 野崎 絵梨香
- 5組 北川 元気 竹谷 一輝 垣深 真也子 川崎 加寿美 堺 真奈美 鍋内 麻美 渡 彩也香
- 6組 狩浦 航平 濱端 正義 平 海幸
- 7組 梶山 桃子 平田 舞

## 同窓会入会式（2月28日）

2月28日（金）に平成25年度卒業生の同窓会入会式を実施しました。式には、吉野榮一石城会会長、浜辺雪枝石城会副会長に出席していただきました。最初に吉野会長から入会に際してのあいさつがあり、「功成り其の名遂げて後」は母校と故郷の発展のため協力してほしいという願いがありました。卒業生を代表して小田裕美さんが「母校五島高校と郷土の発展に尽力していきます」と入会のことばを述べました。最後に、西川校長より同窓会への入会を祝して、卒業生に激励の言葉が述べられ、平成25年度同窓会入会式が終了しました。

会員となった卒業生の皆様には、進学・就職先で最寄りの支部（東京6月、長崎11月、大阪2月）や帰省した際に五島での懇親会（8月中旬に毎年開催）へ積極的に出席し、同窓会の目的である会員の相互融和を図ってほしいと切に願っています。最後に、学年幹事は西津大志君と鍛冶梁美由紀さんです。五島高校の同窓生の輪を広げるとともに、様々な同窓会活動の際には、皆様のご協力をお願いいたします。

## 第2回校内競技大会（18日）



平成25年3月18日（火）第2回校内競技大会が開催されました。天候が心配されましたが、ソフトテニスのみ卓球に切り替えて、晴天時の種目が行われました。

各会場ともに熱戦が繰り広げられ、生徒それぞれにとって今年度最後の学校行事とあって、良き思い出となりました。また、サッカー、バスケットにおいて職員チームが編成され生徒たちと熱きバトルが繰り広げられました。

会場準備、運営、審判と各方面で協力頂いた部活動のみなさん本当にありがとうございました。なお、大会の優勝チームは次のとおりです。

バスケ男子	2年5組	バスケ女子	1年5組
サッカー男子	2年5組	ソフトボール女子	2年1組
卓球男子	2年1組	卓球女子	2年2組



## 進路結果速報（普通科66回生・衛生看護科39回生）

進路指導部

今年度も、多くの生徒が栄冠を手にしました。生徒たちの頑張り、そして保護者の皆様の暖かい励ましと支えの賜物でもあると思います。

一方で、まだ中期・後期日程の結果を待っている生徒もいます。最後まで粘り強く努力した結果が実を結ぶことを信じています。

※国公立大学68人合格（3/10現在 主な合格校、現役生のみ）

名古屋大学	2	岡山大学	1	長崎大学	13
大阪大学	1	広島大学	2	大分大学	2
九州大学	1	熊本大学	6	九州工業大学	2
長崎県立大学	10	都留文科大学	2	名桜大学	4



※私立大学77人合格（3/10現在 主な合格校、現役生のみ）

早稲田大学	2	東京理科大学	1	中央大学	1
同志社大学	1	立命館大学	2	西南学院大学	6



※就職試験10人合格（3/10現在）

※衛生看護科：准看護師資格試験全員合格（20人）

## 次年度に向けて

### 「地味でいい、地味がよい」

第1学年主任 久保田幸成

「地味」とは華がなくて控えめな様子を指す言葉だ。私は最近「地味」なことの魅力に取り憑かれているのか、そうしたものに自然と目がいくようになった。例えば「カーリング競技で氷上を掃く人」「紙を束ねるクリップ」「絶妙な粘着力を有する付箋」など次々とでてくる。一見したところ気付かないがよく考えるとすごい。というか「よくそんなことをやろうと思ったなあ」と感心する。華やかで派手なものよりもその裏にある決断や苦労や努力がカッコいい。

先日国語の授業で「余暇について」という文章を読んだ。そこには現代社会が目に見える結果を重視するあまり、プロセスを軽視する風潮にあると書かれてあった。それは学校現場でも同様で、生徒は各教科からの課題を提出しさえすればよい、テストで良い点数がとればよい、部活動では勝利さえすればよいという考え「成果（結果）至上主義」に陥っているように思われる場面もある。それは評価する側の責任でもあるのだが、本当にこの流れでよいのかと疑問に思う。例えば食卓の野菜は、生産者が種を蒔き、養分を与え、雑草を除去しながら大切に育てたものだ。またバスに乗って登校し、授業を受けて弁当を食べ、そしてまた帰宅するという平凡な1日も、多くの人々の支えで成り立っている。しかし当たり前すぎて感謝することはほとんどない。料理でも人間関係でも学校生活でも基礎づくりや下ごしらえなど、地味なことが大部分を支えている。私はもっと見えないことに光があたる世の中にしたほうがよいと考える。

現高校1・2年生は春休み後、進級して新学期を迎えるだろう。もし少しでも高校生活を良い方向へ変えたいと思うならば、日々の一歩が「自分づくり」につながると考えて具体的な行動に移すべきだ。つまり「地味」という言葉の価値を高めることが未来の自分を育てる。「地味でいい、地味がよい」誰の言葉か知らないが、最高の言葉だ。かく言う私も教師として教壇に立ち、人間づくりを行う身としてこのことを肝に銘じておきたい。

## 「覚悟」

第2学年主任 山口一守

今まで、「あこう風のたより」の原稿は、書く材料を探し、構成を練り、文章を書き、何度も見直をしてきました。でも、今回は、自分の思うがままに書いてみようと思っています。

さて、緑の学年の生徒諸君、今どんな生活を送っていますか。1年後の自分を想像して、毎日を一生懸命過ごしていますか。受験の前日も、今過ごしている3月の今日も、同じ一日です。「こちらの一日が重要」という差をつけている人は、今、志望している大学や学校、就職の合格を勝ち取ることはできません。高総体でも、試合が終わった後に、「もっとやっておけば良かった」と後悔するでしょう。春休み（長期休業）によって心が浮かれ、眉毛を加工する人、遊ぶことを考えている人も同じです。

もう君達にそんな事をしている時間は、全くありません。「覚悟」をして下さい。手に入れたいものがあれば、それ以外の事に心を奪われないで下さい。言い訳は不要です。自分の都合ばかり考えて自分勝手な行動をしている人は、今すぐ行動を改めて下さい。どうすれば、できるようになるのかを考えましょう。

「人は、己に克つを以って成り、己を愛するを以って敗る。」これは、西郷隆盛の言葉です。これから、1年間は本当にきついです。それを乗り越えなければ、本当に欲しいものは手に入りません。自分を甘やかさない。不平不満を言っても、何も解決しないのです。

もう一度、思い出して下さい。何を成し遂げるためにこの五島高校に入学してきましたか。自分の人生を創り上げていくのは自分です。未来を切り拓いていくのも自分です。まだ、この文章を読んでくれていますか？きついね。しんどいね。だからこそ、仲間がいるんですよ。一緒にきつさを経験し、乗り越えてくれるクラス、部活、学年・・・の仲間。ただ、楽しいことだけを共有するのではなく、ともに高めあい、奮い立たせることができる存在です。「受験は団体戦」。真剣勝負ができる人だけが、受験の土俵へあがるのです。君達の心のベクトルは同じ方向を向いていますか？自分の将来を決める1年です。さあ、はい上がれ、緑の学年よ。コツコツ、力を蓄えよ。

### 英語科講演会（2月13日）



本校1・2年生が補助教材として使っている「夢を叶える英単語～ユメタン～」の著者であり、灘中学・高等学校教諭の木村達哉先生が2月13日に来校され、英語科講演会が行われました。講演会では、木村先生がどのように英語と向き合ってきたのか、英語だけでなくどんな学習においても鍵となる「自主性」の大切さについて話してくださいました。また、毎日使用しているユメタンについているCDを活用するよること、更に語彙力をつけることができるとのアドバイスもいただきました。この講演会で学んだことを、今後の英語学習に活かしていきたいと思えます。

### 離任される先生方

名 前	教科等	異動先
糸山 淳	美術	大村高校
木田 博子	国語	西彼杵高校
上田 恵	英語	佐世保商業
中野 秀紀	数学	大村高校
山口 一守	保健体育	長崎東高校
松本美代子	家庭	北松農業高校
辻 理香	音楽	長崎南高校
神近正二郎	保健体育	長崎東中学校
成富 恵子	英語	五島海陽高校

名 前	教科等	異動先
小畠佐予子	国語	諫早高校
中田 禎明	物理	北松西高校
杉本 誠治	保健体育	島原工業高校
鶴見サユリ	音楽	上対馬高校
松屋真理恵	国語	退職
池田 純	英語	長崎西高校
久枝 純	看護	壱岐高校
平田 文晴	事務	大浜小学校
北風土志夫	事務	鎮西高校